

令和4年度 学校運営協議会だより

令和4年度 第4回学校運営協議会が1月28日(土)に開催されました。第4回学校運営協議会の内容をお伝えします。

1 開会の挨拶(長谷川さん)

急に寒くなってきました。この後、展覧会もありますので有意義な会議にしていききたいと思います。よろしく願いいたします。

2 校長挨拶

本日は展覧会と学校公開ということで保護者の方々がみえています。5、6年生は壽屋さんのご協力でプラモデルを製作する活動が入っています。子供たちの様子をご覧いただけたらと思います。おかげさまで来年度の教育課程も定まってまいりました。最終的に学校運営協議会で承認することになります。それと共に教育課程の説明会も具体的に進めていけたらと思っています。学校運営協議会で検討し、来年度の教育課程をスタートできればと思っています。

3 令和5年度の教育課程について

福原校長

教育課程説明会で柱になる部分ですが、一つは学力向上に関わること、二つ目は一人一人のきめ細かな指導体制に関わること、三つめは教職員の働き方について考えていくこと。この三点について学校運営協議会の提言をどのように教育課程に生かしたか説明します。

○資料 教育課程 第1表

(2) ①のエ 認知機能を高めるトレーニング

学力を高めるために子供たちの学習準備ができていなければならないという観点から、黒板を見て書き写す、これとこれは違いがある等、認識をしっかりできる機能が身に付いていなければ学習の準備はできないと考える。認知機能を高めるトレーニング(具体的に言えば間違い探しや、点つなぎ等)を朝学習の時間等に取り組む。学力向上や、一人一人の特性に合わせた指導につながると考える。

(2) ④のウ週時程を工夫

週の時間を1時間減らし、その分1学期を延長して夏休みを短くしていく。

○資料 教育課程 第2表 各教科の重点、生活指導について

(1) ①イ全学年で算数の習熟度別指導を取り入れる。

(1) ①ウ認知機能を高めるトレーニング

○資料 教育課程 第3表 年間授業日数、各学年の授業の時間の配当

(1) 6年生→授業日数を210日に。今年度に比べて7日増えています。

(2) 標準時間は1015時間だが、それを上回る年間1025時間確保した。今年度は約1030時間。

○資料 教育課程 第4表 年間行事予定

7月28日まで1学期、8月31日まで夏休み。としている。

福永委員

認知機能を高めるトレーニングは具体的にどのようなことを行うのか。

福原校長

特別支援に関わる部分になってくるが、朝学習の時間等に一人一人にプリントを渡して取り組んでもらう。内容としては間違い探しや、点つなぎ等のトレーニングを行う。

福永委員

地域でキャンプに行くときなど教えていることとしてKYT（危険予知トレーニング）行っている。絵を前に貼り、みんなの前でやってはいけない行動を一人一つ発表していく。一人でプリントに取り組むよりもみんなで取り組むことで効果を上げることもできる。自分だけで納得して進めていくだけでなくみんなで共有していくのも一つの方法ではないかと思う。

福原校長

実際に取り組んでいく時にみんなでやっていこうとなるとその為に時間を取っていかなければならない課題がある。朝学習等の時間を利用して自分でやってくことをまずは取り組んでいこうと考えている。

長谷川委員長

第2表の①習熟度別指導とある、理解できた時に次のステップへの判断はどのように行っていくのか。

福原校長

基本的には單元ごとにレディネステストを行いその結果によって習熟度を分けていく。單元が変わればクラスも変わる。

齋藤副校長

次年度から立川市教育委員会の方から余剰時数を学校ごとに設定することになっている。標準時数を下回らないように進行具合を確認しながら、必要に応じて年度途中に増加させる等の取り組みをしなければいけない状況も出てくる可能性はある。

長谷川委員長

夏休みの期間は五中学区でそろわないこともあるのか。

福原校長

今年度も立川五中とは1週間ずれていた。

齋藤副校長

夏休みは6日間少なくなる。昨年度はと比べると増減-2日位になっている。

長谷川委員長

8月31日まで夏休みがあるのは切り目がよい。

福原校長

8月の終わりから給食が始まるが、共同調理場方式なのでずらすことができない。

齋藤副校長

4時間授業で給食を食わずに下校となる。

福原校長

夏休み期間が長くなるので、学校に来ている時間は長くなる。8月の給食費はいただかない。

齋藤副校長

こちらで承認いただけるということでしょうか。

学校運営協議会一同 承認

4 教育課程説明会について

開催日が2月17日（金）6時間目

主催は学校運営協議会で行う。